決は絶對に望み得ない實情だ。

◎東條首相比島訪問反響

UP＝重慶六日發

重慶軍スポークスマンは六日記者團會見に於て東條首相の比島訪問に言及して次の如く述べた。

過去二週間日本政府の首腦部及びその傀儡政治家達は盛んに各地を旅行して活動してゐる。汪兆銘南京政府主席は南洋占領地の全域を視察し、滿洲國皇帝は南部滿洲を巡幸し、秩父宮は日本内地の視察旅行を行つた。南京政府の副主席たる周佛海は特使として滿洲を訪問し、又同政府の外交部長褚民誼及び軍事使節團長蔡孟堅將軍は共に日本を訪れた。最近まで外務大臣の任にあつた谷は南京駐劄大使に轉任し、日本政府は同時に大規模な内閣改造を行つた。更に東條上海駐劄大使は目下シンガポールに活動してゐるといはれる。以上の如く日本政府首腦部及びその傀儡政治家達は最近特に活潑に活動してゐるが、之は日本が太平洋戰線に於て新作戰を行ふ可能性が一層強い處としては滿洲、シベリヤ及び印度が擧げられようが、しかし何といつても日本が最大の關心を拂つてゐるのは重慶軍撃破である。

日本が目下支那一線で重慶軍ゲリラ部隊の掃蕩に努力してゐるのはこの事情をよく物語つてゐる。

APマラスカ向＝ロスアンゼルス六日發

東京ラジオは東條首相がマニラにおける演說で（一、二語不明）……の地位にあるフイリピン人が日本に協力するに至れば直ちに比島に獨立を許容する旨言明したことを放送してゐる。この漠然たる約束は明かにタイディングス・マクダフイー法によつて一九四六年に米國から全主權を與へられることになつてゐた比島人の協力を求めるために爲されたものである。昨夜東京ラジオによつて放送された聲明は東條首相の比島訪問の重要性を明らかにしたもので、日本が比島における地歩の確立に異常の努力を拂つてゐることを示唆してゐる。同時に東條首相自身がマニラを訪問しなければならぬ事實は、日本のこの種努力が比島人の協力確保に關する限り所期の成果を擧げてゐないことを物語るものとも解せられる。

12

1

秘

海外特電情報　第百十一號

一八・五・二三(木)
情報局情報課

◎アラカン作戰の失敗

■タイムス社說■

ロイター=ロンドン六日發

タイムス紙は五月一日の紙上に「アラカン作戰」と題する社說を掲げ、次の通り述べてゐる。

アラカン作戰の結果は豫想を裏切つた。當局以外では頻りにアラカン作戰の範圍と意義が强調されたが、當初から右作戰は限定されてゐた。アラカン地方の地形を研究すれば同方面からビルマの戰略的に重要な地方への大擧侵入は初めから問題にならないことが明瞭だ。作戰目標はアキアブ地方の奪回にあり、日本軍は同地方を基地として輕艦隊を使用することも出來たであらうし、又現實に同地を基地とし日本軍航空部隊はベンガル州南部で英軍を攻擊した。若し日本軍が海軍力並に空軍力に餘裕があれば同地を基地として一層野心的な作戰に出たであらう。しかし何れにせよアキアブ奪回の企圖は失敗に歸し、英軍は戰局の主導權を失ひ今や守勢に立つに至つた、しかし同時に日本軍は、季節の關係もあり、今回の戰果を廣範